



宮本忠孝

## 宮本 忠孝 (みやもと ただたか)

河北町名誉町民 昭和 57 年 3 月 27 日顕彰

終戦後の昭和 21 年 (1946) に谷地町 (現河北町谷地) の旧円福寺跡に宮本医院を開設し、戦後の疲弊した故郷の地域医療と、民芸により培われた思想をもとに地域文化の保存伝承、観光行政の発展に尽くしました。

昭和 24 年以降、学校医として生徒の健康管理にあたります。特に保護者会に結核の予防対策を提示して、その追放に努めました。

また、東北地方に圧倒的に多い成人病である脳卒中を、疫学的実態調査を裏付けに耕作種別、食品別調査表並びに大地図を作製して、対策と食事の啓発指導をおこないました。

昭和 30 年以降には、乳児フェニルケトン尿症の早期発見の為に検診の普及に取り組み、昭和 49 年からは山形放送の YBC ラジオドクターとして人気を博しました。

昭和 39 年 (1964) より河北町郷土資料調査委員会委員長並びに河北町文化財調査委員に就任。以降、地域に伝承する藁細工・谷地こけしなどの民具、太神楽や風祭太鼓、田植え踊りなどの郷土芸能の価値を認め、伝承者の誇りを高めて保存の実をはかりました。

紅花をアイデンティティの中核としたまちづくりの提言や、谷地のひな祭りが伝える古い風習、どんが祭の奴行列、囃子屋台などを全国へ発信し、観光行政にも寄与しました。